

## 予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

### 事業名 SDGs推進ネットワーク連携促進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 SDGs推進課 SDGs推進係 電話番号：058-272-1111(内2532)

E-mail：c11123@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 41,603 千円 (前年度予算額：52,500 千円)

#### <財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国庫支出金	分担金負担金	使用料手数料	財産収入	寄附金	その他	県債	一般財源
前年度	52,500	26,250	0	0	0	0	0	0	26,250
要求額	41,603	20,801	0	0	0	0	0	0	20,802
決定額	41,603	20,801	0	0	0	0	0	0	20,802

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

少子高齢化や自然災害、新型コロナといった地域課題への対応、そしてアフターコロナ社会に向けた取組みを進めていくうえで重要な指針となるのがSDGsであり、自治体はもとより、企業や団体、個人など多様な主体がSDGsを理解し、行動に移していくことが求められている。

こうした中、令和2年から「『清流の国ぎふ』SDGs推進ネットワーク会員（以下、「ネットワーク会員」という。）の活動の活性化を図るため、コロナ対策の緊急的な措置として、同会員によるコロナとともにある新しい日常に資する事業に対し支援してきた。

昨年度からは、企業・団体や市町村等、ネットワーク会員のノウハウやスキルを積極的に活用し、「オール岐阜」で取組みを進めていくため、ネットワーク会員による普及啓発や情報発信を支援している。

今後も引き続き普及啓発に注力し、県民の理解度向上や行動変容につなげるとともに、県内における会員活動の活性化を図る。

### (2) 事業内容

県民やネットワーク会員のSDGsを知り、学び、体験する機会を増やすことで、県民一人ひとりの自主的な行動につなげるため、ネットワーク会員が企画・運営する普及啓発や情報発信等に対し助成

#### 【対象事業】

- ① 県民やネットワーク会員が広く参加できる普及啓発イベント
- ② SDGsの普及啓発のための広報物の作成
- ③ 普及啓発の担い手、組織内でのSDGs推進のリーダーとなる人材の育成

- 【事業主体】 ネットワーク会員（企業・団体、市町村等）  
 【補助率】 1/2以内  
 【上限額】 企業・団体 ①：50万円、②：30万円、③：20万円  
 市町村等 ①～③の合計：300万円

### （3）県負担・補助率の考え方

ネットワーク会員が取り組むSDGsの普及啓発事業等への支援が必要であり、県が積極的に実施する必要がある。

国庫負担 1 / 2 [地方創生推進交付金]

### （4）類似事業の有無

なし

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	41,603	
合計	41,603	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### （1）各種計画での位置づけ

<創生総合戦略>

「『誰一人取り残さない』社会の実現を目指して、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むSDGsの達成など国を挙げた取組みとも軌を一にして取り組んでいく必要がある。」と明記。

<SDGs未来都市計画（第2期）>

情報発信として、ネットワーク会員（企業・団体等、市町村）による普及啓発に資する取組みへの資金的な支援により、幅広い分野・地域における普及啓発の機会拡大につなげる旨を明記（令和5年3月策定予定）。

### （2）後年度の財政負担

第2期未来都市計画の終期であるR7年度を目途に計画の進捗状況を踏まえて見直す。

### （3）事業主体及びその妥当性

県には、2030年に向かって「オール岐阜」でSDGsをより一層推進していくために、県民一人ひとりの行動を促すとともに、会員間の連携促進や活動の活性化を図ることが求められており、これに資する事業を県が主体的に実施するのは妥当。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

#### ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

「清流の国ぎふ」創生総合戦略の終期(2023年度末)を目途に、県内企業・団体を対象にした認定制度、ネットワーク間の連携促進により、地域課題の解決に向けた「自律的好循環」を形成する。

SDGsに対する理解促進と、SDGs達成に向けた行動変容を加速化し、ネットワーク会員増を図るため、県内へのさらなるSDGsの普及啓発を図る取組みを支援する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①ネットワーク会員数	0会員 (R1)	924会員 (R3)	1200会員 (R4)	1350会員 (R5)	1650 (R7)	
②県民の行動割合	24.3% (R2)	35.7% (R3)	52.8% (R4)	56.2% (R5)	63.0% (R7)	

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<b>【取組内容】</b> ネットワーク会員による、コロナとともにある新しい日常に資する事業に対し支援（実績 事業数・補助金額：24事業・4,898万7,000円） <b>【成果】</b> ネットワーク会員数はR2年度末時点で600会員を超え、目標を達成することができた。R3年県政モニターアンケートでは、SDGsの認知度が、昨年の52.9%から80.4%まで向上した。
	指標① 目標： <u>600会員</u> 実績： <u>639会員</u> 達成率： <u>106.5</u> % 指標② 目標：— 実績：— % 達成率：— %
令和3年度	<b>【取組内容】</b> ネットワーク会員による、コロナとともにある新しい日常に資する事業に対し支援（実績 事業数・補助金額：15事業・1,984万1,000円） <b>【成果】</b> ネットワーク会員数は、R3年度末時点で900会員を超え、目標を達成することができた。R4年県政モニターアンケートでは、SDGsの認知度が、昨年の80.4%から91.7%まで向上。行動変容は35.7%から52.8%まで向上した。
	指標① 目標： <u>900会員</u> 実績： <u>924会員</u> 達成率： <u>102.7</u> % 指標② 目標：— 実績：— % 達成率：— %
令和4年	令和6年度当初予算にて追加

年度	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
	指標② 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 3	<p>少子高齢化、激甚化・頻発化する自然災害、新型コロナウイルス感染症等への対応に迫られる中、SDGsは、アフターコロナ社会に向けた取組みを進めていくうえでの重要な指針の一つとなっている。</p> <p>このSDGsに「オール岐阜」で取り組んでいくため、県民のSDGsに対する学び、体験したいというニーズに対応するとともに、ネットワーク会員の活動の活性化を図っていく必要がある。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) 3	KPIが達成し、また、会員間の連携促進が図られたことから、成果があったと認められる。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</li> </ul>	
(評価) 2	「オール岐阜」で取組みを進めていくためには、ネットワーク会員による主体的な取組みが必要であり、助成制度により、こうした取組みを促進することができる。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</li> </ul> <p>県民のSDGsに対する知り、学び、体験したいというニーズに対応していくためには、ネットワーク会員の活動を積極的に活用し、「オール岐阜」による取組みを進めていく必要がある。</p>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</li> </ul> <p>ネットワーク会員による啓発イベントや担い手の育成、広報物作成・配布等を支援し、主体的に取り組んでもらうことで、県民からのニーズに対応するとともに、会員活動の活性化につなげ、ひいては県に頼ることなく、自立・自走していく社会を目指す。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】

## 県単独補助金事業評価調書

 新規要求事業

 継続要求事業

### (事業内容)

補助事業名	
補助事業者（団体）	（理由）
補助事業の概要	（目的） （内容）
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容） （理由）
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 （理由）

### (事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

### (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
	令和6年度当初予算にて追加
令和4年度	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項
---------------------

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--